

海外安全対策情報(平成30年度第1四半期:2018年4月~6月)

1. 社会・治安情勢

当国では、治安面で大きな問題はなく、一般犯罪は減少傾向にあるが、スリ、置き引き、強盗は相変わらず発生している。なお、組織的犯罪が増加傾向にあり、オスロ市内や近郊では侵入窃盗及び屋内強盗事件、銃撃事件などが発生している。

また、欧州への難民流入に伴い、ノルウェーでは国境検問の強化、フェリーでのID検査を継続している。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 主な一般犯罪事例

ア ホテル、レストラン、空港での置き引きが依然として多い。

イ 数人のグループで話しかけて注意を引きつけている隙に仲間が財布等をすったりひったくったりする手口が多い。

ウ オスロ市内で、銀行、スーパー、自宅等を狙った強盗が発生している。

エ 空き巣が発生している。

オ オスロ中央駅付近の治安は、特に夜間は良くない。また、この地区では強盗・ひったくりの被害報告が多い。

カ 組織的犯罪が増加傾向にある。

(2) 邦人被害事案

・6月中旬、オスロ中央駅付近のホテルの朝食会場で食事中、同席の人に荷物の見張りを頼んでビュッフェを取りに行っていた間に、椅子においていた荷物を置き引きされた。

3. テロ・爆弾事件発生状況

特になし。但し、欧州におけるテロ等治安情勢を踏まえ、ノルウェー警察はテロを未然に防ぐ活動を継続している。

なお、現在のところ、日本権益に対しての何らかの脅威が存在するという情報は無い。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

特に情報はない。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特に情報はない。